



デコポン出荷始まる

◎もくじ (2012年12月号)

- 2 藤井瑞希さん記念碑完成
/ V・チャレンジリーグ女子バレー
- 3 松永昌士さん叙勲
/ 芦北うたせ感謝祭
- 4 熊本県広報協会合同特集
- 6 まちのわだい

- 10 平成23年度決算報告
- 14 保健センターだより
/ 災害に備えて避難訓練
- 15 芦北に残る文化遺産
/ 景さんの芦北チョアチョア記

- 16 お知らせ
- 18 警察署 / 消防署 / 編集後記
- 19 書道・短歌 / 出生・おくやみ
- 20 三太郎駅伝競走大会 / 芦北町音楽祭
/ 美術館だより / 湯の香ざらりー

藤井瑞希さんの記念碑 「夢は叶う」完成

日本バドミントン史上初の五輪メダリストとなった藤井瑞希さん。その功績をたたえた記念碑が母校である湯浦中に完成し、11月13日、藤井さんが出席し除幕式が行われました。

式で松本弘二湯浦中学校長は藤井さんの「夢はオリンピックに出ること」の卒業文集を紹介し、「『夢は叶う』のとおり藤井さんは小さい頃からの夢をロンドン五輪で実

現しました」とあいさつ。

藤井さんは「私は五輪出場という夢を叶えるために、毎日小さな目標を立てて、クリアしてきました。皆さんにも夢があると思います。毎日をただ過ごすのではなく、どんな小さなことでもいいので目標を立て、夢に向かって頑張ってください」と生徒に話しました。

記念碑は同校50周年記念事業の資金で製作。パブリックビューイングの際に使用したプロジェクトとスクリーンなども同事業の資金により寄贈されています。



湯浦中の正門近くに設置された記念碑を中心に湯浦中の生徒と記念撮影



▲銀メダルを触って大喜びの生徒たち



記念碑の前で笑顔を見せる藤井さん



受章おめでとうございます

秋の叙勲

旭日双光章

司師二代目肥後三郎

松永昌士さん(白石)

松永（弓師名…松永重昌）さんは伝統的手法による優れた「肥後三郎弓（15ページ芦北に残る文化遺産参照）」の製作者として日本の伝統・芸術文化を国内外に広めてきました。また、1996年に全日本弓道具協会副会長（現在は相談役）、2007年から2010年までは国際弓道連盟理事を務めるなど弓道の後継者育成にも尽力されています。

「弓は50年、100年経っても残っています。弓を作る責任があるので一本一本手を抜かず作ってきました」と話す松永さん。竹の寿命は5年ほどですが、弓にすることで

100年残す事ができます。ふるさとの材料をふるさとの宝として生かせることがうれしいと弓は教えてくれました。「弓を手放すときは娘を嫁にやると同じ気持ちです」と言うほど製作した全ての弓に愛情を注いできました。

松永さんは18歳から弓の修行を始め、55歳で二代目肥後三郎を襲名。最盛期には年間約1千500本〜2千本の弓を製作していたそうです。「私は不器用だったけど、弓を作るのが好きだった。不器用だったからこそ研究を重ね、弓作りに一生懸命打ち込むことができたと思います」と話す松永さん。

「弓のおかげでこのような立派な章をいただくことができ、素晴らしい人たちと出会うことができました。本当にありがたいことです」と受章の感想を話してくれました。松永さんは製作した弓を使っている人に「大会で弓に助けられました」と言われることと、弓を大切にかわいがってくださっていることが製作者として一番うれしいそうです。「80歳を過ぎて何かせんといかんと思ひ竹細工を始めました。やっぱり竹からは離れられない運命なんでしょうね」と笑顔を見せてくれました。

華麗なプレーで観客を魅了 V・チャレンジリーグ開催

社会人バレーボールのVリーグ。その2部リーグであるチャレンジリーグの女子熊本大会が11月11日、しろやますカイドームで開催されました。Vリーグが芦北町で開かれるのは昨年2月にV・プレミアリーグ（一部）男子が行われて以来2度目です。

試合は2試合が行われ、第1試合は上尾メディックス（埼玉）とKUROBEアクアフェアリーズ

（富山）が対戦。上尾メディックスが3対0のストレート勝ちを収めました。第2試合には熊本を本拠地とするフォレストリヴス熊本と柏エンゼルクロス（千葉）が対戦。地元熊本開催とあって熊本市内からの大応援団や芦北町の観客も応援しました。第1セット・第3セットは柏、第2セット・第4セットは熊本が取り、フルセットまでもつれましたが惜しくも熊本は勝利を逃しました。ラリーが長く続いた時などは、会場から大きな拍手と声援が送られていました。



▶熱戦を繰り広げるフォレストリヴス熊本と柏エンゼルクロス



▶選手と一緒に入場し記念撮影する芦北ジュニア（写真上）と田浦ジュニアのメンバー



うたせ船でクルージング 芦北うたせ感謝祭

うたせ船を身近に感じてもらうと、「芦北うたせ感謝祭」が11月10日に芦北漁協前で開催されました。沖合に帆を張った2隻のうたせ船を眺めながらの約40分のクルージングはこのイベントの目玉。今年も町内外からの多くの人が乗船しました。うたせ船に乗るのが初めての人も多く大変好評でした。この日は風が強く、沖合のうたせ船は帆を高く張ることはできませんでしたが、漁師が説明する自然に優しいうたせ網漁法の説

明に関心していました。人吉から孫を連れて初めてうたせ船に乗船した人は「近くに住んでいてうたせ船のことを全く知らなかった。今度は船上料理を食べたいです」と感想を話していました。

会場では足赤エビの塩焼きやイシエビのかき揚げが特価の100円で販売され長蛇の列ができていました。また、カキや魚、エビなどの海鮮バーベキューも人気でした。鯛のみそ汁が無料で来場者に振る舞われこちらも大人気でした。その他にも芦北町の特産品や芦北伽倻街道のカレーなども販売されました。



▲漁師からうたせ網漁の説明をうけながらのクルージング



▲足赤エビを買い求めようと長蛇の列ができました



Special Interview

うんばば中尾さん

◎ Profile うんばば・なかお
昭和 40 年熊本県生まれ。有限会社赤坂を立ち上げ、イベントの企画・運営を手掛けながら、自らもテレビ番組制作などで培ったノウハウを生かしキャスター、リポーター、イベント司会、講演活動などを行う。

私は平成17年に飲酒運転で事故を起こしてしまいました。前日は午後10時頃までテレビ番組の打ち合わせを兼ねてお酒を飲みました。タクシーで帰宅して寝た後、午前3時に起きて「もう大丈夫だろう」と思い、食材を

買いに市場へ車で向かいまして。その途中、信号待ちで停車していた車に追突してしまったのです。実況見分の最中、私からお酒の

タレントとして活躍しているうんばば中尾さんは、飲酒運転事故を起こした体験を人に伝え、その危険性を知らせるために講演活動を行っています。飲酒運転が自分や周りの人に与えた影響と、防止策について話を聞きました。

その先にある悲しみに
気付いてほしい――

事故後、私はお世話になったっていた企業や放送局からの信用、キャリア、収入など多くのものを失いました。家族にもつらい思いをさせてしまいました。家や車にいたずらをされ、精神的に不安定になった時期もあります。だからこそ今は、一人でも多くの人に飲酒運転の危険性やその先にある悲しみに気付いてもらおうと講演活動を行っています。

おいがしたため飲酒チェックを受け、測定の結果酒気帯び運転で検挙されました。

事

後、私はお世話になったっていた企業や放送局からの信用、キャリア、収入など多くのものを失いました。家族にもつらい思いをさせてしまいました。家や車にいたずらをされ、精神的に不安定になった時期もあります。だからこそ今は、一人でも多くの人に飲酒運転の危険性やその先にある悲しみに気付いてもらおうと講演活動を行っています。

お酒がなくならない限り飲酒運転を根絶することとは難しいかもしれません。しかし、そのせいで人の夢や人生が奪われることは決してあってはなりません。飲酒運転は家族、職場、友人同士など社会全体の問題として本気で取り組んでいくことが大事です。飲酒運転を減らすために一人一人がルールを守り、飲酒運転をしない、させない、許さない環境を熊本県からつくっていきましょう。

お

酒がなくならない限り飲酒運転を根絶することとは難しいかもしれません。しかし、そのせいで人の夢や人生が奪われることは決してあってはなりません。飲酒運転は家族、職場、友人同士など社会全体の問題として本気で取り組んでいくことが大事です。飲酒運転を減らすために一人一人がルールを守り、飲酒運転をしない、させない、許さない環境を熊本県からつくっていきましょう。

と思います。

想像してみてください。もし自分が飲酒運転事故を起こしてしまつたら……。もし大切な人が飲酒運転事故に巻き込まれたら……。

笑顔を守るための鍵は、自覚と助け合いです。その鍵は私たち熊本県民一人一人が握っています。

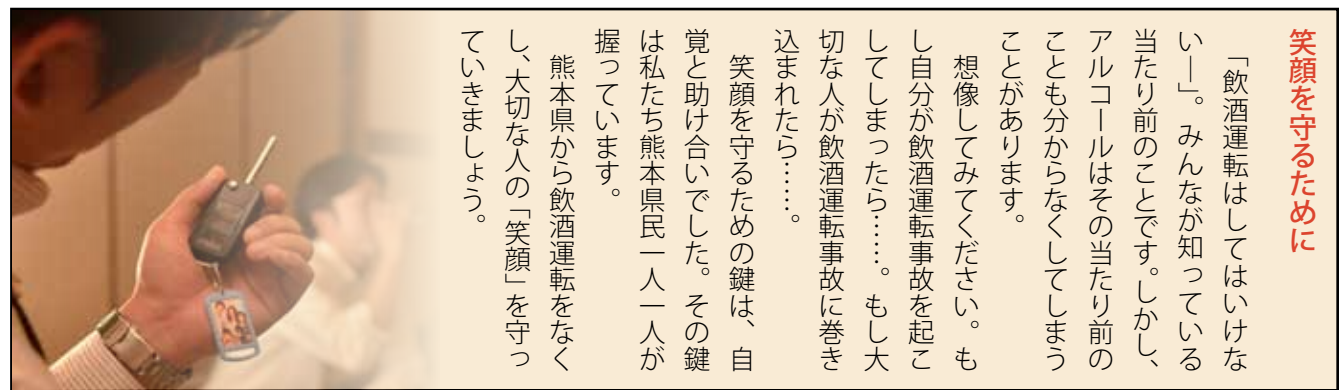
熊本県から飲酒運転をなくしていきましょう。

「飲酒運転はしてはいけない」。みんなが知っている当たり前のことです。しかし、アルコールはその当たり前のことも分からなくしてしまうことがあります。

想像してみてください。もし自分が飲酒運転事故を起こしてしまつたら……。もし大切な人が飲酒運転事故に巻き込まれたら……。

熊本県から飲酒運転をなくしていきましょう。

笑顔を守るために



笑顔を守るために

「飲酒運転はしてはいけない」。みんなが知っている当たり前のことです。しかし、アルコールはその当たり前のことも分からなくしてしまうことがあります。

想像してみてください。もし自分が飲酒運転事故を起こしてしまつたら……。もし大切な人が飲酒運転事故に巻き込まれたら……。

熊本県から飲酒運転をなくしていきましょう。

笑顔を守るための鍵は、自覚と助け合いです。その鍵は私たち熊本県民一人一人が握っています。

熊本県から飲酒運転をなくしていきましょう。

その手で守れる 笑顔があります



厳罰化されたものの、依然として後を絶たない飲酒運転。なぜ、危険だと分かっている飲酒運転をしてしまうのでしょうか。お酒を飲む機会が増えるこの時期に、いま一度飲酒運転について考えてみましょう。

後を絶たない飲酒運転

平成18年、福岡市で幼児3人が死亡する飲酒運転事故が発生しました。この悲惨な事故は社会問題となり、翌年には法律が改正され飲酒運転に対する罰則が強化されました。しかし飲酒運転による事故や検挙は後を絶ちません。熊本県警によると、県内の飲酒運転による交通事故は平成19年に大幅に減少したものの、その後はほぼ横ばいとなっています（図1）。飲酒運転は依然としてなくなっていない。

その主な要因には、自分が事故を起こすはずがないという「ひとごと感覚」、少ししか飲んでいないからという「自覚の欠如」、飲んで数時間たつたから大丈夫という「アルコールが及ぼす影響に対する理解不足」の3つが挙げられます。飲酒運転をなくすためにはこれらの意識を変えていく必要があります。

最近では、翌朝の二日酔い運転による検挙も増えていま

す。「一度寝たから大丈夫」は、本当は大丈夫ではないのです。

自覚と周囲のフォローが鍵

飲酒運転で検挙された人の中には、事故の悲惨さや処分の重さなどを分かっていないがらハンドルを握ってしまったという人もいます。誰にでも「つい……」ということが起こり得るのです。その結果、社会的信用、仕事、家族の絆などたくさんものを失います。失ったものを取り戻すためには多くの努力と長い時間が必要です。いま一度、一人一人が当たり前のことを強く自覚することが求められます。

全くお酒を飲まない人でも無関係ではありません。家庭や職場、仲間同士で声を掛け合ってください。お酒の席で飲酒運転への注意を呼び掛けたりハンドルキーパーを決めたりと、できることは身近にあります。あなたの一言が、その飲酒運転を止める鍵になるかもしれません。

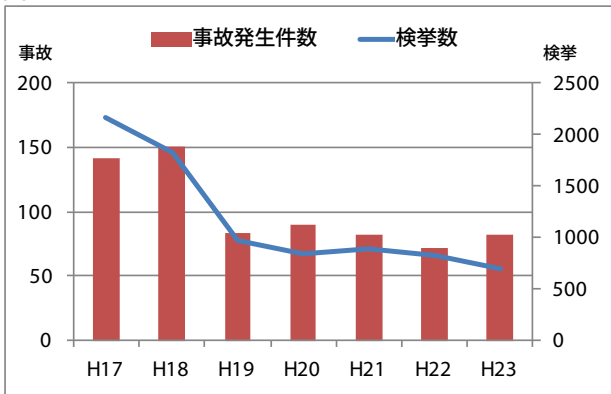
Interview

お酒を飲むと情報処理能力、注意力、判断力が低下します。この状態で運転すると、運転に必要な「反応」「操作」「発見」などの要素が欠落してしまい、大きな事故につながるようになります。死亡事故率は飲酒なしの場合と比べて8.7倍です。お酒に強い人も弱い人も関係なく、このようなリスクがあることを知ってください。



熊本県警察本部交通企画課
おたまでよし
小田真功 警部

図1 熊本県の飲酒運転による事故発生件数・検挙数





熱戦を繰り広げる選手たち

熊日学童オリンピック空手道大会

しろやまスカイドームで11月18日、第38回熊日学童五輪空手道大会が行われ、300人以上の小学生拳士が形の部と組手の部で日頃の技を競いました。町内からは芦北町海王塾が出場。総合成績（形と組手の総合成績）で5・6年男子の芦北町海王塾Aが優勝し3連覇を達成しました。町内関係者の成績は次のとおり。

5・6年【男子】形 3位 海王塾A（田村、岩下、中川）
組手 優勝 海王塾A（同）
【女子】形 3位 海王塾（鬼塚、橋本寧、橋本愛）
組手 3位 海王塾（同）

3・4年【男子】組手 3位海王塾A（宮島、佐藤、石井）
【女子】組手 準優勝 海王塾（釜、宮下、下川）

1・2年【男子】組手 準優勝 海王塾A（白崎、山尾、橋本）

阿蘇神社秋期例大祭

農作物の豊穰（ほうじょう）に感謝して行われる田浦阿蘇神社と小田浦阿蘇神社の例大祭が11月18日に行われました。今年は開催日が日曜日と重なったため、多くの来場者でにぎわいを見せていました。

田浦阿蘇神社では子どもみこしが神社まで巡行。祝いめでた、俵踊り、棒踊り、臼太鼓踊り、田浦海龍太鼓の郷土芸能が披露されました。最後に、餅米2俵分で作った紅白の餅投げがありました。

小田浦では子どもたちがみこしを担ぎ、宮浦天子宮から阿蘇神社まで巡行しました。境内に用意された土俵で恒例のちびっこ相撲大会が行われ、お母さんたちは小さな力士に黄色い声援を送っていました。



多くの来場者でにぎわいました（田浦阿蘇神社）

もやいまつり

芦北町社会福祉協議会が主催する「もやいまつり」が11月18日、きずなの里で行われました。ひとりだけの金婚式や講演会、食べ物や物品のバザー、「未来に残したい美しい不知火海」の絵画展示などがありました。講演会は、水俣市立水俣病資料館の水俣病語り部副会長の吉永理巳子さんが「わたしと水俣病ともやい直し」と題して講演。吉永さんは「父親が水俣病ということ友達に隠していました。患者家族ということとても肩身が狭い思いをしてきました。40歳を過ぎてようやく話せるようになりました。過去のことを学び伝え、今のこの素晴らしい環境・風景を後世に残すことが私たちの役目です」と話しました。



杵（きね）と臼を使った餅つきもありました

城迫さん再びグランドチャンピオン

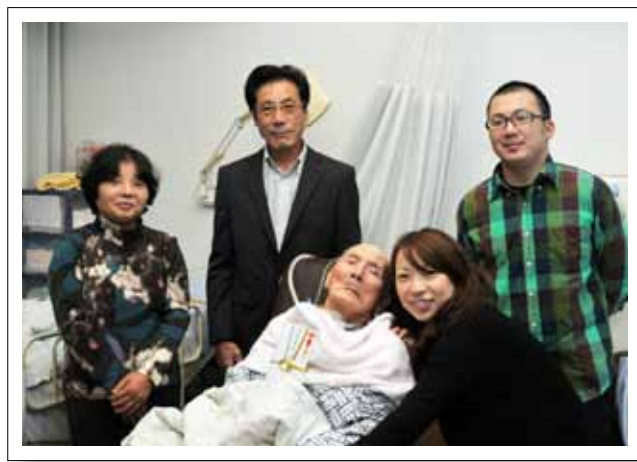


家族と受賞を喜ぶ城迫貫一さん（左から2人目）

第20回JA熊本経済連肉畜枝肉共励会が11月2日、熊本畜産流通センター（菊池市）で開催され、城迫貫一さん（宮崎）が肉牛の部（黒毛和種、褐毛和種、交雑種、乳用種）の最優秀賞であるグランドチャンピオン賞を受賞しました。城迫さんが出品した牛は、全110頭の中で枝肉の質が最も高く評価され、1kg当たり8,010円の高値で取引されました。城迫さんは、平成22年に続く2回目の受賞です。芦北町の畜産農家のグランドチャンピオン賞の受賞は3年連続、7回目となります。「これからも日頃の飼養管理を徹底して、家族で協力しながら頑張っていきたい」と受賞の感想を話してくれました。

山下藤市さん祝100歳

山下藤市さん（吉尾）が11月14日に100歳の誕生日を迎え、子どもや孫夫婦が集まり祝いました。山下さんは、山で木材を切り出す仕事をしていたので足腰は相当強かったそうです。長男の山下久美男さんが「うそと間違ったことが大嫌いで、子どもたちが少しでも悪い事をするとものすごい剣幕で叱り、家の外に放り出すほど厳しかった。孫を温泉に連れて行ってくれる優しいところもありました」とにっこり。「おやつに牛乳とパンを必ず食べていたのが長寿の秘訣（ひけつ）かもしれませんね」と山下さんの家族が話してくれました。



家族が集まって山下さんの誕生日を祝いました

メガソーラー発電施設建設起工式



32.9haの広大な町有地に熊本県内最大規模の発電施設が完成します

芦北町が大林組と松下組の企業連合体と7月にメガソーラー発電事業に関する協定を結び賃貸借契約を締結した矢城牧場跡地で11月16日、起工式がありました。神事後の式典で大林組の三輪昭尚取締役は「今回の事業を地域に根ざした事業とするため、熊本県、芦北町、地元の人たちと協力し合い、県南地域の振興、太陽光発電の普及・啓発、環境学習の拠点として取り組んでいきます」とあいさつ。今後、太陽光パネルの設置工事が始まり、来年3月に1期分が完成します。2期分が完成する2014年の2月までに熊本県内で最大規模となる21.5メガワットの発電設備ができる予定です。



佐敷城の模型を前に作品の説明をする岡田さん

佐敷城を模型で復元

田浦地区出身で静岡県御殿場市に在住の岡田幸人さんが佐敷城の模型を制作し、11月26日に芦北町へ寄贈しました。岡田さんは東京駅の模型など40点以上もの作品を趣味で作り、2009年には母校、田浦小の模型を小学校に寄贈しています。

佐敷城の模型は330分の1の大きさで、町などからの資料を参考に、身近に手に入る圧縮ベニアや竹、針金などを材料に制作。「図面が残っている石垣は史実に忠実に作ったつもりですが、資料が残っていない本丸、正門、裏門などは地形や当時の城郭様式を参考に想像を働かせ丁寧に仕上げました」と話していました。

大きく育てスーパークロマツ

緑豊かな地域になることを願って水俣芦北地域みどり推進協議会が11月27日、女島地区の広域農道に隣接する公園で植樹祭を行いました。植樹祭に先立ち、女島活力推進センターで実施された式典では、植樹を行う芦北幼稚園児25人に芦北地域振興局林務課の職員が木の種類などのクイズや植樹の仕方を説明。以前芦北地方は松の産地だったことから園児が大人と一緒にスーパークロマツの苗木50本を植樹しました。スコップを使って「早く大きくなーれ、大きくなーれ」と言いながら植えていました。江口園長は「子どもたちが植えたことを覚えていて木の成長を観察しに来てくれればいいですね」と話してくれました。

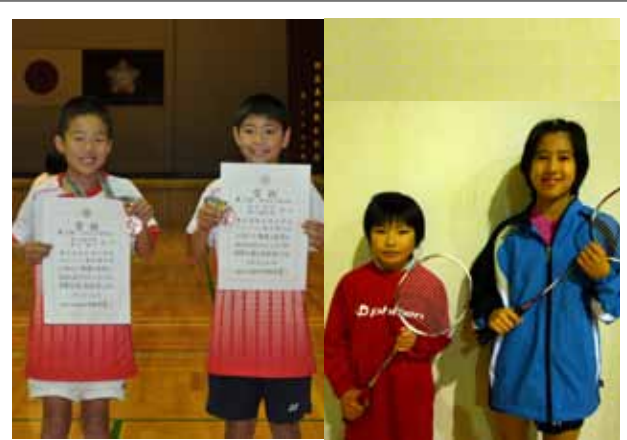


大人と一緒にスーパークロマツを植える園児たち

バドミントン全国大会出場

12月23日～27日に静岡県袋井市で開催される全国小学生バドミントン選手権大会に芦北町から地方陸人くん（芦北 Jr.、内野小5年）と福田朋花さん（KTJ、田浦小6年）、益田萌寧さん（同、田浦小4年）の3人が出場します。

地方くんは10月に鹿児島市で行われた全九州小学生バドミントン選手権大会で4年生男子ダブルスの部に森口航士朗くん（芦北 Jr.、水俣市）と出場し3位。益田さんは同大会の4年以下女子ダブルスの部で準優勝しました。福田さんは熊日学童オリンピックで準優勝の成績を収め、女子団体（熊本県選抜）に出場します。



▲「ベスト8目指して練習を頑張っています」と地方くん（右）と森口くん ▲益田さん（左）と福田さんは大会に向け週5日、3時間練習しています

小さな力士が大相撲



立ち合い後組み合う小さな力士

子どもの健やかな成長を願うとともに礼節を学び、日本の国技である相撲に親しんでもらおうと七浦ちびっこ相撲大会が11月23日、交流センターで行われました。今回で3回目の開催となります。JKAトレジャークラブの主催で、芦北・水俣地域をはじめ県内各地から103人が参加。団体戦と個人戦で大人顔負けの熱気溢れる大会となりました。相撲初体験でなかなか土俵に入らなかったり、どうやって戦えばいいのか分からなかったりする子どもも見受けられましたが、豪快な投げ技を披露する子もいて会場は家族の声援で行司の「のこった、のこった」という声が聞こえないほど盛り上がりしました。

芦北でも恐竜の化石が見つかるよ

NPO 法人赤松館保存会は同館の米蔵に田浦小学校の5・6年生90人を招待して11月20日、恐竜講演会を行いました。講師は芦北町出身で御船町恐竜博物館の主任学芸員池上直樹さん。池上さんは「化石からわかること」と題し、化石や標本を用いて恐竜の歴史などを説明。池上さんが一番最初に化石を採集した場所は田浦だったというエピソードも交え話してくれました。「化石からは生物の進化や昔の環境などが分かります。恐竜時代の化石が芦北町内にはたくさん埋まっているはずです。芦北町内の石や地層をよく観察してみてください。今まで気付かなかった発見があるかもしれませんよ」と話していました。



化石の標本などを使って説明してくれました

老人会と田浦小が落花生収穫

芦北町老人会田浦支部（永田功会長）は11月20日に毎年実施している田浦小学校児童との交流を実施しました。老人会17人と田浦小2年生の児童25人、先生、保護者らが参加し今年の4月に畑4畝（400㎡）に植えた落花生を収穫を行いました。この日収穫した落花生は約100kg。学校で乾燥させて、ピーナツバターなどに加工して食べるそうです。永田会長は「こういった交流をすることで、子どもたちからあいさつしてくれるようになりました。6年前から続けていますが中学生になっても覚えていてくれますよ」と話してくれました。収穫を通して世代間の交流が図られています。



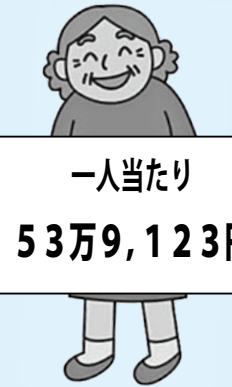
収穫後に老人会と田浦小のみんなで記念撮影

平成 23 年度に町民の
皆さんが納めた町税



一人当たり
7万9,841円

平成 23 年度一般会
計で町民の皆さんの
ために使われたお金

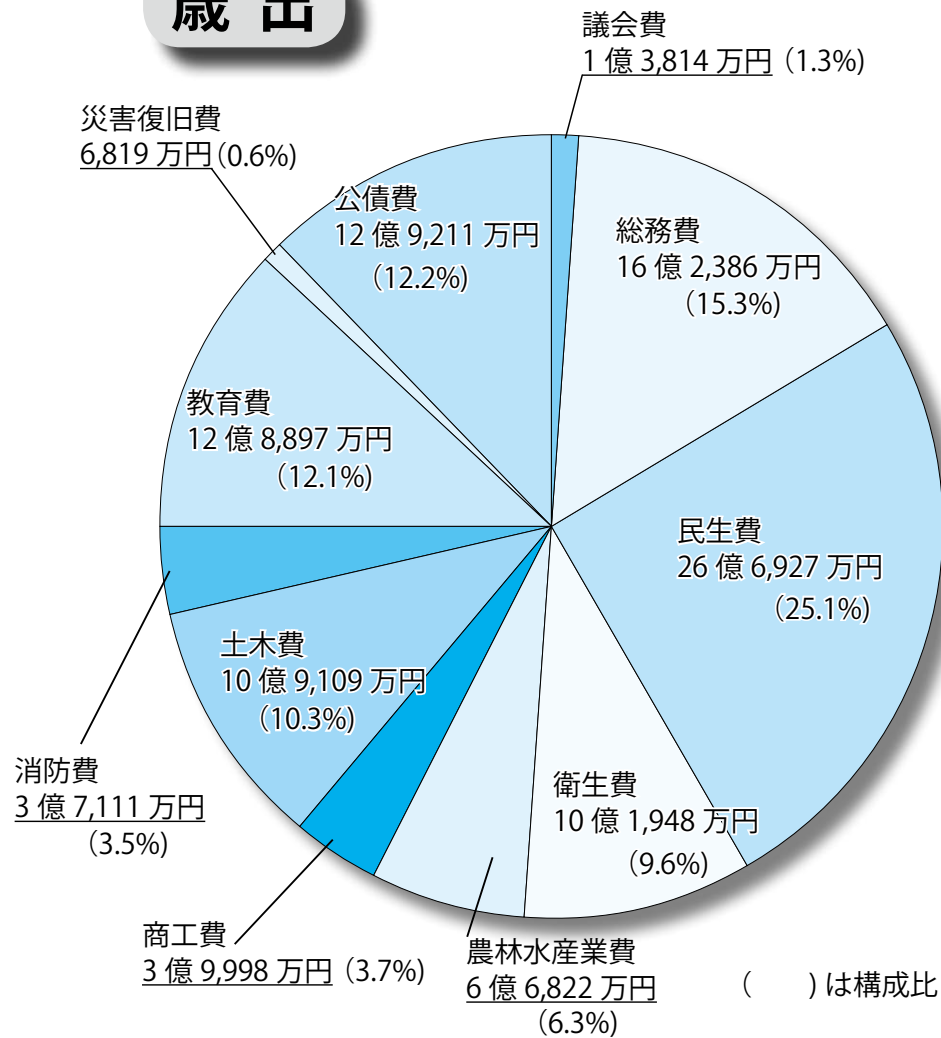


一人当たり
53万9,123円

税負担の約 6.8 倍の行政
サービスが提供されている
ことになります。

(注) 住基人口 19,718 人 (平
成 24 年 3 月 31 日現在) で
算出しています。

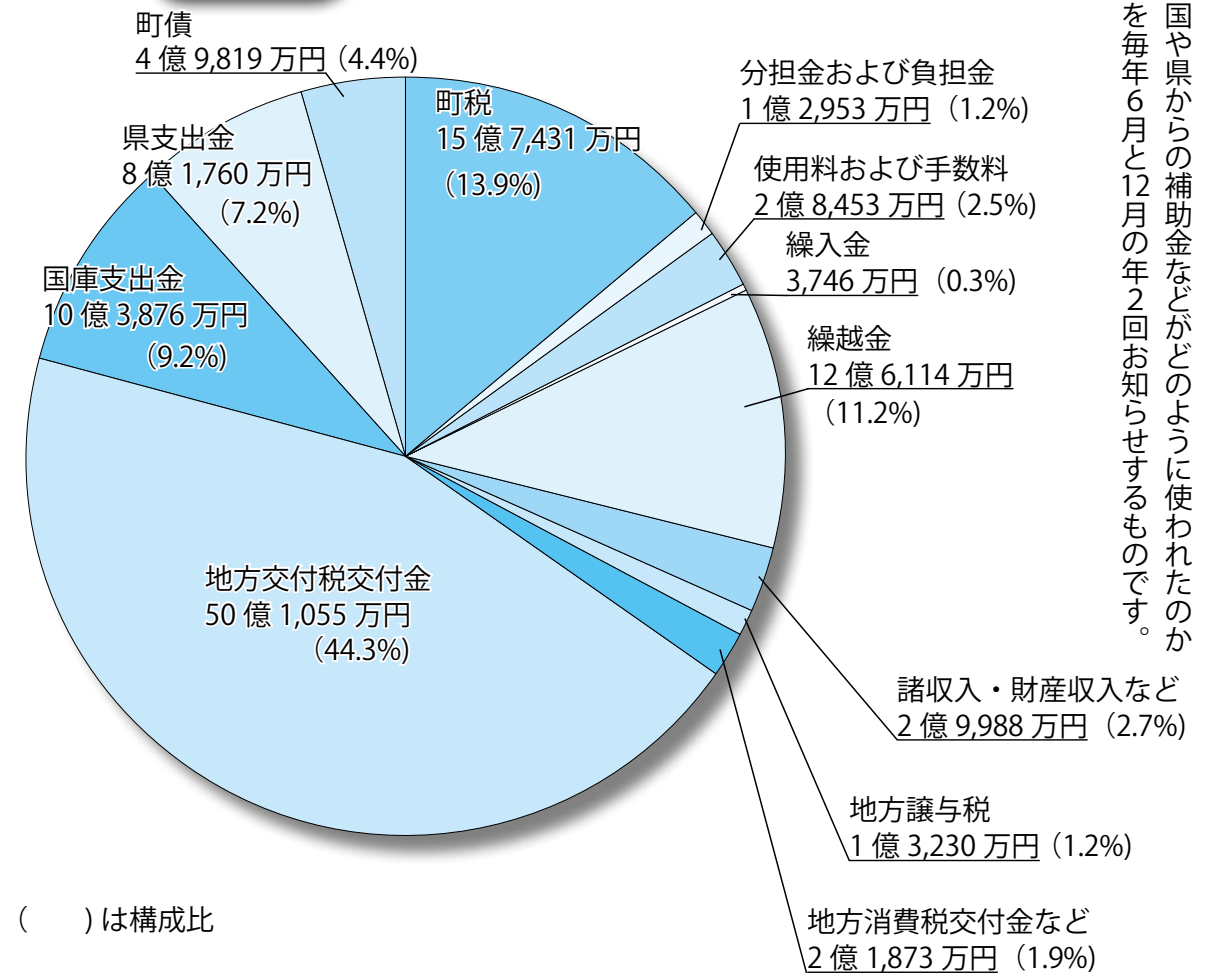
一般会計 歳 出



歳出総額

106億3,042万円

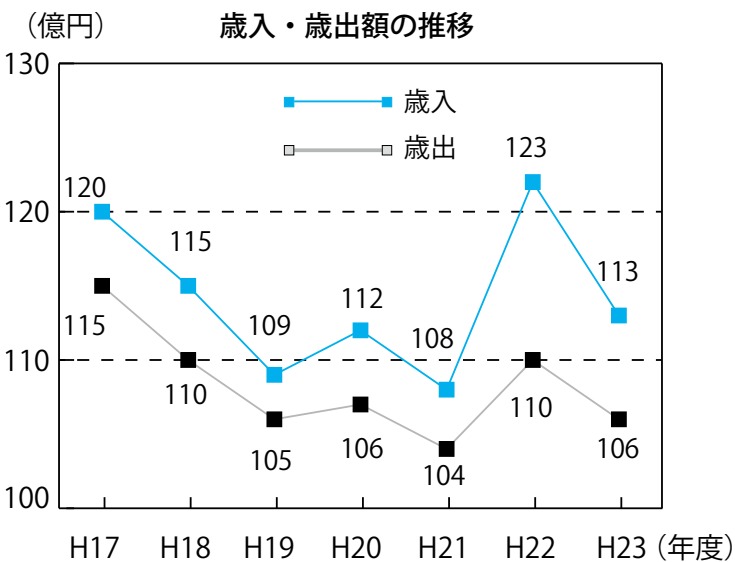
一般会計 歳 入



歳入総額

113億298万円

平成 23 年度の一般会計と特別会計の決算が、9 月
定例会で認定されました。
財政公表は、皆さんから納めていただいた税金や、
国や県からの補助金などがどのように使われたのか
を毎年 6 月と 12 月の年 2 回お知らせするものです。



歳 出

歳出は目的別にみると、民生費が
26 億 6,927 万円で歳出の 25.1 %
を占め最も多く、次いで総務費、公
債費の順となっています。
全体で昨年度との比較で 3.5 %
の減となっていますが、衛生費の清
掃センター芦北事業所解体整備工
事、農林水産業費の国などの交付金
活用による果樹選果機導入の終了な
どが減少の主な原因です。

歳 入

歳入は、町税や使用料など町が独
自に徴収する「自主財源」と国や県
などから割り当てられる「依存財源」
に分けられます。
芦北町の自主財源の合計は 35 億 8,
685 万円で歳入の 31.8 % を占め、
このうち町民税や固定資産税などの
町税が 15 億 7,431 万円で歳入の
13.9 % を占めています。
一方、依存財源の合計は 77 億 1,
613 万円で歳入の 68.2 % を占め
ています。前年度に比べ繰越金の額
が増加したため、自主財源比率は上
昇していますが、50 億 1,055 万
円の地方交付税交付金を主とする依
存財源に頼らざるを得ない構成と
なっています。

一般会計の決算の状況

平成 23 年度の一般会計の決算
額は、歳入が 113 億 298 万
円 (前年度比 8 % 減) で歳出が
106 億 3,042 万円 (前年度
比 3.5 % 減) となり歳入から歳出
を差し引くと 6 億 7,256 万円
の黒字となりました。このうち 4,
481 万円が平成 24 年度に引き続き
実施する事業の費用 (繰越財源) に
充てられるため、実質的な収支は
6 億 2,775 万円の黒字になりま
した。

特別会計の決算状況

特別会計とは、特定の事業を展開するに当たって、それぞれの事業収入で独立採算を原則として運営する会計のことです。芦北町には、9つの特別会計があります。

特別会計の歳入総額は62億9,015万円(前年度比0.4%減)、歳出総額は59億3,982万円(前年度比1.1%減)となりました。

会計名称	歳入	歳出
国民健康保険事業特別会計（事業勘定）	34 億 4,427 万円	32 億 5,466 万円
国民健康保険事業特別会計（直診勘定）	7,530 万円	7,530 万円
介護保険事業特別会計	20 億 3,015 万円	19 億 817 万円
簡易水道事業特別会計	8,837 万円	6,680 万円
農業集落排水事業特別会計	2 億 816 万円	2 億 816 万円
生活排水処理事業特別会計	5,268 万円	5,268 万円
町有温泉事業特別会計	1 億 1,457 万円	1 億 1,457 万円
奨学資金貸付事業特別会計	3,094 万円	1,470 万円
後期高齢者医療事業特別会計	2 億 4,571 万円	2 億 4,478 万円
合計	62 億 9,015 万円	59 億 3,982 万円

芦北町は健全で安定した財政運営を行っています！

芦北町の財政状況は、財政健全化法の基準を大きくクリアしており健全財政を保っています

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、健全化判断比率と資金不足比率の公表が義務付けられています。公表する指標は、町の赤字の状況や借入金などの負債の状況を示したものです。この指標が、一定の基準を超えた場合は、町の行政運営を行う上でさまざまな制限が設けられます。

芦北町の財政は、次のとおり国の早期健全化基準（財政再生基準）を下回っており「健全な状態」にあります。資金不足比率についても全ての企業会計において資金不足額はありません。

●健全化判断比率

指標	芦北町	平成 23 年度		指標の説明
		早期健全化基準	財政再生基準	
実質赤字比率	赤字なし	14.1%	20.0%	一般会計などの赤字の程度を示した指標です。
連結実質赤字比率	赤字なし	19.1%	30.0%	芦北町の全会計の赤字の程度を示した指標です。
実質公債費比率	5.7%	25.0%	35.0%	過去3年間の借入金返済額の大きさを示した指標です。県内市町村平均は11.6%です。
将来負担比率	12.3%	350.0%		借入金や将来支払っていく可能性のある負担などの大きさを示した指標です。県内市町村平均は58.1%です。

●資金不足比率

事業名	芦北町	経営健全化基準	指標の説明
水道事業会計	資金不足なし	20.0%	公営企業会計における資金の不足額の大きさを示した指標です。
簡易水道事業特別会計	資金不足なし		
農業集落排水事業特別会計	資金不足なし		
生活排水処理事業特別会計	資金不足なし		

平成 23 年度一般会計の主な使いみち

●魅力的な地域づくり

人材育成事業	172 万円
町民講座運営事業	508 万円
まちづくり支援事業	523 万円
まちづくり支援事業花苗等配布事業	245 万円
コミュニティ助成事業	250 万円

●人にやさしい快適なまちづくり

防火水槽新設工事	977 万円
小型動力ポンプ付積載車購入	478 万円
小型動力ポンプ購入	301 万円
予防接種事業	2,021 万円
子宮頸がん予防接種事業	232 万円
インフルエンザ予防接種事業	1,520 万円
各種検診事業	2,999 万円
ごみ収集・運搬業務	4,538 万円
生ごみ収集・処分業務	2,811 万円
不法投棄パトロール・回収事業	977 万円
住宅用太陽光発電システム設置事業	845 万円
女島活力推進センター建設事業	5,731 万円
自立支援医療費(更生医療)給付事業	2,293 万円
地域活動支援センター事業	680 万円
障害者(児)相談支援事業	534 万円
重度心身障害者医療費援助事業	3,985 万円
障害者自立支援給付事業	3 億 4,555 万円
保育所運営事業	3 億 2,410 万円
開所時間延長保育促進事業	1,941 万円
子ども医療費助成事業	5,722 万円
老人保護措置費事業	1 億 62 万円
食の自立支援事業	858 万円
老人公衆浴場無料入浴券補助事業	1,345 万円
白岩地区排水対策工事	5,188 万円
計石地区排水対策工事	7,526 万円
湯北地区排水対策工事	2 億 9,186 万円



向町地区排水対策工事	798 万円
河川改修事業	1,560 万円
災害防除事業	1,324 万円
急傾斜地崩壊対策事業	1,793 万円
公営住宅等管理事業	5,147 万円
浄化槽設置整備事業	3,544 万円

●豊かな心の人づくり

スクールバス運行事業	3,088 万円
準要保護児童生徒就学援助事業	1,179 万円
小中学校修繕・改修事業	3,329 万円
花岡地区埋蔵文化財発掘調査事業	4,720 万円
スポーツ振興補助事業	4,709 万円
学校給食共同調理場整備事業	5 億 2,452 万円

芦北町学校給食センター



●生きがいのある働き場づくり

果樹風雪被害対策事業	1,097 万円
果樹共済掛金補助事業	503 万円
中山間地域等直接支払事業	4,969 万円
中山間地域総合整備事業	1,938 万円
農地災害復旧工事	801 万円
農地小災害復旧補助事業	830 万円
農業用施設小災害復旧補助事業	718 万円
農道舗装補助事業	730 万円
県営芦北地区排水対策特別事業	5,800 万円
木造住宅建築支援事業	1,876 万円
有害鳥獣捕獲事業	241 万円
林道舗装事業	1,196 万円
水産資源回復・基盤整備交付金事業	400 万円
田浦漁港防波堤修繕工事	604 万円
商工業振興事業	950 万円
緊急雇用創出基金事業	9,768 万円
ふるさと雇用再生特別基金事業	2,739 万円
観光うたせレディース船整備事業	1,000 万円

●生活を支える基盤づくり

地方バス路線維持事業	3,562 万円
スクールバス一般利用便運行事業	722 万円
佐敷駅通路橋整備事業	4,802 万円
地籍調査事業	9,364 万円
道路改良工事	1 億 658 万円
道路局部改良工事	2,612 万円
橋りょう新設改良工事	3,081 万円
交通安全施設設置事業	899 万円
側溝整備工事	2,103 万円
新設舗装工事	3,664 万円

保健センターだより

朝ごはんを食べて 脳に栄養補給

朝は忙しくて、ついつい朝ごはんを抜いていませんか？ 朝ごはんを食べないと、お腹がすくだけでなく、仕事や勉強に集中できなかつたり、イライラしてしまつたりと、さまざまな悪影響があります。

朝、少しだけ時間を作り、ごはんを食べて、気持ちよく1日をスタートさせましょう。



脳のエネルギー源は「ブドウ糖」だけ！

脳を活性化させ、集中力や記憶力を高めるためには、脳への栄養補給が欠かせません。脳のエネルギー源としては、ブドウ糖が利用されます。睡眠中でも脳はエネルギーを消費し、脳の中のブドウ糖は朝にはほとんどなくなります。朝食でブドウ糖が補給されると、脳が活性化します。朝食効果で体温も上がり、ウォーミングアップ効果が得られます。

※ブドウ糖とは…穀物や果物に多く含まれ、栄養学上最も重要な糖質です。血液中に血糖として一定濃度で含まれ、エネルギー源として利用されるほか、多くの生理作用に関与します。成人の場合、1日120gを消費します。

脳の発達に欠かせない「脂質」

脂質は、脳の神経細胞をはじめ全身の細胞膜を形成するために必要な栄養素です。特に細胞膜を形成するリン脂質に含まれるのがDHA（ドコサヘキサエン酸）とIPA（イコサペンタエン酸）という長鎖多価不飽和脂肪酸です。神経と神経をつなぐシナプスと呼ばれる部分の膜に多く、記憶促進物質として情報伝達に重要な役割を果たしています。また、認知症予防にも効果があると言われています。DHAとIPAはイワシやサバなどの青魚に多く含まれています。



＊問い合わせ先
保健センター

☎（86）0200

災害に備えて

大野、大岩地区で避難訓練

東日本大震災をきっかけに防災訓練や避難訓練の重要性が再認識されており、町内各地で訓練が行われました。

大野地区では11月11日、大野地域自主防災訓練実行委員会が主催して大野小学校で自主防災訓練が行われました。震度6の地震が起き道路の崩壊や家屋の倒壊が多数発生したと想定して救出訓練や消火訓練、炊き出し訓練、心肺蘇生法とAEDの操作方法を学習しました。



▲芦北消防署員から心肺蘇生法を習う参加者（大野地区）

大岩地区では大岩地区生涯学習

センターで11月18日、災害時要援護者（※注）の避難訓練を熊本県や芦北町、消防団、地元住民などが参加して実施しました。防災無線で避難勧告を発令。支援者は要援護者の家に向き安否確認を行い、指定された同センターなどに誘導しました。訓練の後は、熊本学園大学の学生と参加した人たちが一緒に今回の避難状況の課題を検証しました。

（※注）災害時要援護者とは高齢者や障害者、妊婦や5歳未満の乳幼児など災害時に1人では避難が難しい人のこと。



▲訓練後、大学生を交え、避難経路や危険箇所の確認などを今後の参考にするために検証しました（大岩地区）

芦北に残る文化遺産

⑬ 肥後三郎弓製作技術

（熊本県指定重要無形文化財
平成14年2月27日指定）

「肥後三郎弓」は薩摩弓の力強さと京弓の優雅さを兼ね備えた弓です。グラスファイバー製の弓が普及している現在でも、国内外の弓道家から高い評価を得ています。この「肥後三郎弓」の製作者である2代目肥後三郎の松永昌士さんが先日、文化財保護功労により旭日双光章を受章しました。

松永さんは初代肥後三郎である父・重児さんの下で弓師としての修業を積み、1985（昭和60）年に2代目肥後三郎を襲名。同年5月の昭和天皇熊本行幸の際には、県伝統工芸館でその技術を披露しました。さらには、イギリス人弓道家オ布莱エンさんとの交流を



▲社会教育センターに展示している「肥後三郎弓」

通して、海外への弓道の普及にも大きく貢献しています。父と同じく80歳で現役を引退し、息子の弘澄さんが3代目肥後三郎を継承していますが、現在も指導にあたっています。

初代肥後三郎の重児さんは東京の弓師の家に生まれました。鹿児島へ薩摩弓の修業に出た際に、球磨川沿いで見た弓の材料となる見事な竹とハゼの木に魅了され、1924（大正13）年に芦北の白石地区に移り住みました。そこで、一環して従来からの材料を用いた製法で弓を製作。改善や工夫を重ね「肥後三郎弓」を完成させました。日本の誇る匠の技「肥後三郎弓」は、社会教育センターと町立弓道場に展示してあります。興味のあ

る人はぜひご覧ください。

＊問い合わせ先
生涯学習課 文化振興係

☎（87）1171（内線145）

景さんの

芦北チョアチョア記

（第7回）

芦北町国際交流員

李允景（イ・ユンギョン）

アンニョンハセヨ！

11月4日、ファーマーズマーケット「でこぼん」駐車場で第11回芦北町国際交流まつりが行われました。今年も多くの皆さんにお越しいただきました。今回は、まつりの中で私が韓国人として皆さんと触れ合ったことを書きます。

今年の世界グルメバザーでは「トッコチ」を作りました。「トッコチ」は、細長い餅を串刺しにしてコチュジャンで作った甘辛ソー



▲お団子みたいなのがトッコチです

スをつけて軽く焼いたものです。韓国ではおやつ感覚で食べます。皆さんにもぜひ味わってもらいたいと思います。来場者の中には子どもも多いので、特別に辛くないしょうゆソースを用意しました。食べられた人の中には「おいしい」と再び購入してくれる人もいて、用意した150本が1時間で売り切れてしまいました。韓国文化院に協力してもらい設置した韓国文化紹介ブースでは、韓国のいろいろな写真や小物などを展示しました。子ども用の伝統衣装試着を手伝ったり、伝統的な遊び道具の遊び方を教えたり、展示の写真について説明したりして来場者と触れ合うことができました。来年はもっと多くの国際交流ができるような楽しいまつりを作りたいと思います。来年もぜひ来てください！関係者の皆さん、お疲れさまでした。ありがとうございました。

2012年の芦北チョアチョア記が今月で最後です。ね。「広報で記事見てるよ」と声を掛けてくれる皆さんにいつも感謝しています。来年も芦北町での楽しい生活、韓国との違いなどを紹介していきたいと思います。

芦北町農地流動化促進事業補助金

芦北町では農地の利用拡大と利用促進、遊休農地の抑制と解消を目的として、農地の受け手、出し手に対し助成金を交付する農地流動化促進事業を平成24年度から始めました。

▼補助金額

契約の種類	賃貸借契約期間	設定の種類	契約者	補助金額
賃貸借権	3年以上 ～5年未満	新規	受け手	1万円／10a
			出し手	5,000円／10a
	5年以上～	再設定	受け手	5,000円／10a
			出し手	2,500円／10a
		新規	受け手	2万円／10a
			出し手	1万円／10a
使用貸借権 所有権移転			受け手	1万円／10a
			出し手	5,000円／10a
			受け手（譲受人）	2万円／10a
			出し手（譲渡人）	1万円／10a

▼対象農地

町内にある農地で平成24年4月1日以降に農地の賃貸契約（3年以上、

工業統計調査へのご協力をお願い

製造業事業所を対象に平成24年工業統計調査を12月31日現在で行いますので、ご協力をお願いします。

調査の実施に当たっては、本年12月から来年1月にかけて調査員が伺います。なお、調査票の内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確に記入していただきますようお願いいたします。

*問い合わせ先

企画財政課 政策推進係
☎（82）2511（内線253）

田浦子育て支援センター 1月の行事

8日(火) 新春お茶会
10日(木) 絵本読み聞かせ
17日(木) ホットケーキを作ろう
21日(月)～25日(金) 鬼のお面作り
31日(木) 身体測定・誕生会
※支援センターは未就園児と保護者なら誰でも利用できます。一時保育も行っています。
◆センター利用時間 毎週月曜日～金曜日
午前9時30分～正午 午後2時45分～5時15分
*問い合わせ先 田浦子育て支援センター
☎（87）0034

10a以上）を設定した農地。または所有権移転（10a以上）された農地。※同一世帯や相続、贈与などの手続きは対象となりません。

▼対象者

町内に住所がある農業者、農業法人、集落営農組織

*問い合わせ先

農林水産課 農政係

☎（82）2511（内線271）

はたちの献血キャンペーン

冬は、体調を崩す人が多く、献血者は減少しがちです。そこで、冬の輸血用血液の確保と、医療機関へ安定的に血液製剤を供給するため、毎年1月と2月の2カ月間、新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心に、広く国民の皆さんに献血への理解と協力をお願いしています。特に成分献血、400ml献血の継続的な推進・啓発への協力をお願いします。

▼献血ルーム

・日赤プラザ献血ルーム
熊本市東区長嶺2-1-1
☎096（384）6727
・下通り献血ルーム
熊本市中央区下通1-8-29
☎096（325）9218

介護ベッドのすき間が危険

医療・介護ベッドに係わる重大事故が続いており、全国で4件の死亡事故が発生しています。事故の多くはベッド用手すりのすき間に頭や首、手足などを挟むことによるものです。ベッド



の適切な使用方法の徹底や使用には十分注意し、事故の未然防止に努めましょう。

調理師業務従事者届

就業している調理師は、法に基づき2年ごとに就業地などについての届出が必要です。

▼対象 平成24年12月31日現在、調理師免許を持っていて県内で調理業務に従事している人

▼届出用紙の設置場所 県内各保健所、県庁健康づくり推進課、熊本市各区役所

▼提出期限 1月15日(火)

▼提出先 就業地を所管する保健所

*問い合わせ先

熊本県水俣保健所

☎（63）4104

年末年始の業務案内

町関係主要施設	休館(場)日	備考
御立岬温泉センター	12月29日(土)、12月30日(日)	12月31日(月)は、正午から午後8時まで営業
御立岬公園	12月29日(土)～12月31日(月)	
マリンハウス	12月28日(金)～12月30日(日)	12月31日(月)は、宿泊予約者のみ
物産館肥後うらら	1月1日(火)	12月31日(月)は、午前8時から午後5時まで営業
たばくまん	12月31日(月)～1月1日(火)	12月31日(月)は、おせちの引渡しのみ
芦北海浜総合公園	12月29日(土)～1月1日(火)	
大野温泉センター	1月1日(火)	12月31日(月)は、午後4時まで営業 1月2日(水)は、午前9時から営業
ヘルシーパーク芦北	1月1日(火)	12月31日(月)は、午後6時まで営業
計石温泉センター	1月1日(火)	12月31日(月)は、午後6時まで営業
湯浦温泉センター	1月1日(火)	12月31日(月)は、午後6時まで営業
しろやまスカイドーム、交流センター	12月28日(金)～1月3日(木)	1月4日(金)は、午前9時から午後5時まで開館
温泉プール	12月28日(金)～1月1日(火)	1月2日(水)、3日(木)は、午前10時から午後5時まで開館
岩崎グラウンド	12月29日(土)～1月3日(木)	
星野富弘美術館	12月29日(土)～1月1日(火)	1月2日(水)、1月3日(木)は臨時開館

使用者も、労働者も必ずチェック最低賃金

熊本県最低賃金が改定され、10月1日から適用になりました。この最低賃金は、県内全ての事業所、労働者に適用されます。

▼時間額 653円

産業別最低賃金も次のとおり変更になります。

▼産業別最低賃金金額

◎電子部品・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業
↓時間額 710円(12月15日適用)

◎自動車・同附属製造業
↓時間額 759円(同)

◎百貨店、総合スーパー
↓時間額 700円(同)

◎紡績業、ねん糸製造業、織物業
↓日額 5,176円、
時間額 647円(H12年適用)

▼無料相談
最低賃金の引き上げに対応した賃金の引き上げに取り組む中小企業の支援として、経営と労働の両面に対応できる無料相談窓口を設置しています。気軽に相談ください。

*問い合わせ先
八代労働基準監督署
☎0965（32）3151

県環境センター1月イベント

【エコクッキング教室】

エコクッキング教室や日常生活でのエコについて学ぶ学習会を通して、環境への負荷を少なくするエコライフスタイルを学び、考え、日常生活での実践につなげます。

▼日時 1月27日(日)
午前11時～午後3時

▼場所 地域活性化センター(田浦)

▼募集 35人程度
(小学校5年生以上を対象)

▼参加費 300円(材料費など)

▼申込期限 1月10日(木)

▼万華鏡・UVビーズストラップを作ろう

▼日時 1月20日(日)
・万華鏡作り 午前11時～正午
・ストラップ作り 午後1時～2時

▼場所 熊本県環境センター

▼募集 各20人程度▼参加費 無料

▼申込期限 1月19日(土)

◆申込方法 ①住所②氏名③電話番号を明記して、はがき、FAXで申し込み(ホームページに参加申込書あり)
*申込・問い合わせ先
水俣市明神町55-1
熊本県環境センター
☎（62）2000
FAX（62）1212

芦北警察署

☎(82)3110



「送り付け商法」にご注意ください！

「送り付け商法」とは、注文していない商品を勝手に送り付け、その人が断らなければ買ったものとみなして、代金を一方的に請求する商法です。

●「送り付け商法」への対処法

身に覚えのない商品が送られて来た場合は、「受領拒否」また「受取保留」をしましょう。

●商品を受領してしまったら

商品を受け取った日から14日間、または商品の引き取りを業者に請求した日から7日間は保管しておく義務があります。その後は自由に処分することができます。



「訪問購入」業者に新たに規制がかかります

自宅に押しつけてきた業者に貴金属などを強引に買い取られたという被害が増えていることから、「訪問購入」の業者に新たに次のとおり規制がかかります。

- ①訪問購入業者に対する不当な勧誘行為の規制
- ②書面の交付義務
- ③売主（消費者）によるクーリング・オフ
- ④第三者への物品の引き渡しに関する売主への通知
- ⑤物品を引き渡す際の第三者への通知

芦北消防署

☎(82)4731



ストーブの取り扱いに注意しましょう

これからの季節は、空気が乾燥し、火災が発生しやすくなります。ストーブなどの暖房器具の利用も増えてくると思いますが、取り扱いには十分注意しましょう。

●ストーブは消火してから給油し、給油缶のふたはしっかり閉める

燃料タンクのふたの閉めつけが不完全で、ストーブに灯油をこぼし出火した事例が多く発生しています。

●ストーブの近くに燃えやすいものを置かない

カーテンの近くでストーブを使ったり、ストーブの上に洗濯物を干すのは危険です。また、ストーブのそばで殺虫剤などのスプレー類を使用するのも火災の原因となります。



●不良灯油は使用しない

不良灯油（昨年を持ち越した灯油など）・不純灯油（汚れた灯油や水の混じった灯油など）を使用しないでください。不完全燃焼や異常燃焼など、予想しない事故が発生するおそれがあります。

また、ガソリンなどの誤給油に注意してください。

●換気は十分行う

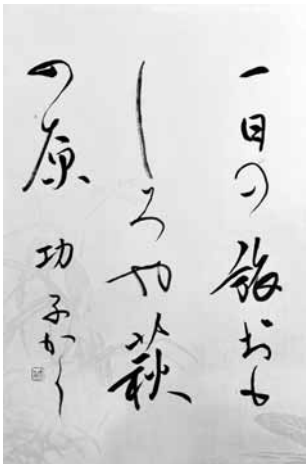
石油ストーブを使うときは、1時間に1～2回（1～2分）程度換気を行ってください。石油ストーブは換気が不十分だと室内の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

編集後記

▼松永昌士さんが旭日双光章を受章されました。松永さんが作る「肥後三郎弓」は国内はもちろん海外の弓道家からもものすごい人気があります。女性のような柔らかさと強さを持つと言われ、その曲線美は芸術品です。弓一本一本を精魂込めて作られている松永さん。これまでに作られた弓で満足いくものは数えるほどだそうです。松永さんの弓に掛ける人生のお話、大変勉強になりました▼あるイベントで駐車場係をしました。天気予報では雨は降らないとのことだったのですが雨が降ってきました。雨具を何も持っていないでびしょ濡れになりながら駐車場満車の対応をしていました。すると「この傘を使ってください」と女性の人が傘を渡してくれました。後で傘を返しに伺うのでお名前だけでも教えてくださいていからと教えてもらえませんでした。とても寒い日だったのですが心温まる出来事でした。これからもっと寒い季節になりますが、人の温かさに勝るものはありませんね▼今年もいろんな出来事があったと思いますが残すところあとわずかとなりました。来年も素晴らしい年でありますように。皆さん、良い年をお迎えください。（寺川）

書道（かな）

【町民講座】



一日の旅おもしろや萩の原
（正岡子規の句）
桑田功子

短歌

【芦北短歌会】

逝きませる方の門標そのままに売り家とあるにしばし佇む
初曾孫生れし霜月裏庭のつわぶき黄花明るみて見ゆ 吉田 みほ
軽々と生者必滅語り来し言葉ひしひし吾が身に迫る 鳥居 静子
前川に今年また来しかいつぶり潜ると見るに彼方に浮かぶ 加来 道子
大洋へ続く事など意識外寄せくる波はのたりのたりと 四宮美佐子
米良 佑子

【田浦荘短歌会】

木枯しの吹くに舞い散る柿落葉それぞれにしてその深きいろ
前山につるべ落しの陽は没ちて夕映えのなか鴉群れ飛ぶ 野浦 悟
柿の実の熟れしも知らず終日を部屋にこもりて舌の声聞く 野浦 忍
十五夜の村中総出の綱引きもいまは老いらの語り草となる 竹林 淳子
年の暮れ帰ってくる孫思いつつ夫はせつせと干し柿を剥く 窪 スミ子
永田フジ子

お誕生おめでとう

H24.11.1～11.30 受付分（敬称略）受付件数 13 件

氏 名	出生日	性別	保護者	区
釜 杏理	10.23	女	源成	女島西
木川 太陽	10.23	男	精也	乙千屋
木川 伊織	10.23	男	精也	乙千屋
勝田 逢斗	10.28	男	雄樹	八幡
磧 幸之介	10.30	男	敬介	米田
長上 心龍	11. 1	男	伸樹	天月
山田 真綾	11. 2	女	慎太郎	道川内西
中村 文音	11.11	女	大二郎	田浦4
林田 和花	11.13	女	勇貴	花岡東
山中 心湖	11.13	女	一孝	花岡西
平生 壱麒	11.14	男	明博	平生
岩本 妃奈	11.19	女	静花	田浦町3
新立 ゆあ	11.24	女	大輔	湯南団地

※本町窓口に出出をした人で、承諾を得た人を掲載しています。
町外に提出した人で、掲載を希望する場合は、役場総務課秘書広報係までご連絡ください。

ご冥福をお祈りします

H24.11.1～11.30 受付分（敬称略）受付件数 22 件

氏 名	死亡日	年齢	区
早川 清純	11. 6	88	花岡東
青木 サエ	11. 6	89	本町
川口 キミエ	11. 6	87	簸瀬
梶田 幸男	11. 7	84	鶴木山
上田 サナエ	11.12	91	市居原
福浦 キヨ子	11.12	76	湯浦南
平松 フミエ	11.12	82	小田浦7
本田 ヤエ子	11.13	75	西告
田中 康子	11.14	84	田浦町1
向田 マサ	11.14	94	大尼田
守山 セツ子	11.16	80	花岡北
甲斐 恒雄	11.20	82	上町
溝口 益男	11.22	66	高岡北
江口 トシ子	11.23	77	宮崎
岩本 秀富	11.24	85	岩屋川内
鶴崎 ニキ	11.26	87	海浦1
田中 チエ子	11.27	83	小田浦2
丸山 義光	11.27	80	大川内南
松本 ツヤ子	11.29	73	向町

※本町窓口に出出をした人で、掲載の承諾を得た人を掲載しています。

人口の動き（H24.12.1 現在）（ ）内は前月比

人 口	19,554人	(-20)
男	9,125人	(-11)
女	10,429人	(-9)
65歳以上	7,110人	(+8)
世 帯 数	7,570世帯	(+1)



第63回熊日 三太郎駅伝競走大会

1月13日(日) 午前10時スタート
スタート ▶ **水俣市役所**
フィニッシュ(ゴール) ▶ **芦北町地域活性化センター**

※町内の主な中継所の通過予定時刻

- ・馬出野三叉路：午前11時10分頃
- ・勤労者福祉会館前(向町)：午前11時40分頃
- ・地域活性化センター(田浦)：午後0時20分頃

第9回芦北町音楽祭



期 日 2月3日(日)

時 間 午後1時開場 午後1時30分開演

場 所 しろやまスカイドーム

チケット販売 1月7日(月)から

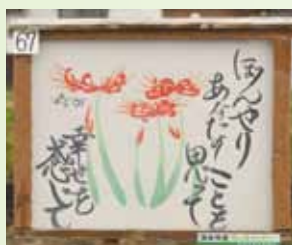
入場料 〈前売り券〉高校生以上1,000円 小中学生500円

〈当日券〉 高校生以上1,500円 小中学生700円

チケット販売所 生涯学習課、社会教育センター、温泉プール
しろやまスカイドーム、各出張所、商工観光課

オープニング♪ 芦北町吹奏楽団
【出演団体】

- ♪ 西里小学校
- ♪ 託麻西小学校
- ♪ 合志中学校
- ♪ 三和中学校
- ♪ FIRE STATE
- ♪ Cherry Blossom



薩摩街道ふるさと湯の香ざらりー
12月2日に新しい作品に取り替えました。
その一部を紹介します。

◇「雪の上の足跡展」のろくてもいい
じゃない、ゆつくり歩こう」
○休館日 第2・4月曜日(祝日除く)
○開館時間 午前9時～午後5時
*問い合わせ先
星野富弘美術館
☎(86)1600



▲「難転」2008年

芦北町立星野富弘美術館だより
芦北ではあまり雪は降りませんが、星野さんの地元群馬県は雪がかなり積もるそうです。そんな雪深い群馬の自然を題材としたものを多く展示しています。2月11日(月)まで。